



シングルス決勝トーナメントの様子

世界への登竜門

■ゴーセンカップ国際レディースオープンテニストーナメント

国際テニス連盟公認の「ゴーセンカップ・スウィングビーチ牧之原国際レディースオープンテニストーナメント2013」が10月13日から20日まで、静波リゾートホテル・スウィングビーチで開かれました。

日本女子選手が国内外のメジャー大会へ出場するための登竜門となる本大会には、国内外から多くの選手が参加。シングルスは第1シードのディアス選手（カザフスタン）が、ダブルスは徳積絵莉選手・二宮真琴選手のペアが優勝しました。

地元の高校生がグランプリを獲得

■第23回藤田まさと先生を偲ぶ歌の祭典カラオケコンクール

藤田まさと先生を偲ぶ歌の祭典が10月12日、い〜らで開催されました。

「岸壁の母」「浪花節だよ人生は」などのヒット曲を手掛けた作詞家、藤田まさと先生の業績を称えるために毎年開催されている祭典には、市内外から約75人が参加。出場者の自慢の歌声に、会場の観客からは大きな拍手が送られました。グランプリには、「WINDING ROAD」を歌った、鶴岡銀司郎さん（静波）、山下瑚永さん（静波）、池谷夏輝さん（御前崎市）の高校生3人組が輝きました。



トロフィーを受け取る鶴岡君（右）と山下さん（中）ら

花のまちづくりの姿勢を評価

■花の会が第23回全国花のまちづくりコンクール花のまちづくり大賞を受賞

「第23回全国花のまちづくりコンクール」花のまちづくり大賞（国土交通大臣賞）を受賞した市花の会（八木かよ子会長）が11月1日、市役所棟原庁舎を訪れ、市長に受賞の喜びを報告しました。

花をとおしたまちづくりに積極的に取り組む個人や団体、企業、市町村が対象に審査され、全国から2,187件が応募。花で来訪者を歓迎する気持ちを市内に広め、会員同士の交流が図られている同会の花のまちづくりに対する姿勢が評価され、初めての受賞となりました。



受賞を祝い、市長に喜びを報告する八木会長（左）ら



小惑星探査機「はやぶさ」について説明する川口教授

「はやぶさ」の生みの親が講演

■榛原郷友会講演会

首都圏で活躍する地元出身者で構成する「榛原郷友会（会長 宮村真平三井金属鉱業株式会社相談役）」主催の講演会が10月29日、榛原・相良高等学校で行われ、全校生徒約1,200人が参加しました。

郷土を思い、活躍する著名人を講師に迎え、子どもたちに夢や希望を持ってもらおうと開かれているもの。講師の、小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトマネージャーを務めた、独立行政法人宇宙航空研究開発機構の川口淳一郎博士は、「はやぶさ」プロジェクトの概要などを話しました。



協働のあり方について、話をする北川教授

牧之原から日本の未来を考える

■地域の絆づくり事業推進研修会

地域の絆づくり事業推進研修会「協働、創発のまちづくり～牧之原から日本の未来を考える～」が10月4日、坂部区民センターで行われました。地域住民が自ら考え、市との協働を進める地域の絆づくり事業の一環として、自治会地区長会が主催。早稲田大学院教授の北川正恭氏を講師に招いて、市民や自治会役員などを対象に、住民主導のまちづくりの重要性について講演などが行われました。

また、同教授が所長を務める早稲田大学マニフェスト研究所が関係する「第8回マニフェスト大賞グランプリ」を、「地区津波防災まちづくり計画」を策定した地区自治推進協議会が受賞しました。

誰もがふれあえる場所として

■さざんかふれあい広場

さざんかふれあい広場が10月6日、さざんかで行われました。

子どもや高齢者、障がい者など地域住民の誰もがふれあいを楽しめる場を提供しようと、市社会福祉協議会が毎年開催しているもの。会場には、福祉やボランティア団体、榛原高校など36団体のブースや模擬店が並んだほか、川崎幼稚園の園児によるマーチングバンドやはいばら太鼓の演奏なども行われ、約2,500人の来場者でにぎわいました。



手作りの商品などを販売するこづみ作業所のブース



息を合わせ美しい歌声を響かせた川崎小の児童

心に響け僕らのハーモニー

■榛原地区小学校南地域音楽発表会

榛原地区南地域小学校音楽発表会が10月4日、い〜らで開かれました。

牧之原市と吉田町の13校から、主に4・5年生が参加。各校は1校あたり10分の持ち時間で、合唱や合奏、オペレッタなどさまざまな発表を披露。児童らは、夏休み前から授業や放課後などに練習を重ねてきた成果を発揮し、先生の指揮に合わせて息のあった歌声を会場に響かせました。

緊張しながらも堂々と発表する姿に、他校の児童から盛んな拍手が送られていました。

ズームイン！  
カシャ！！



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp